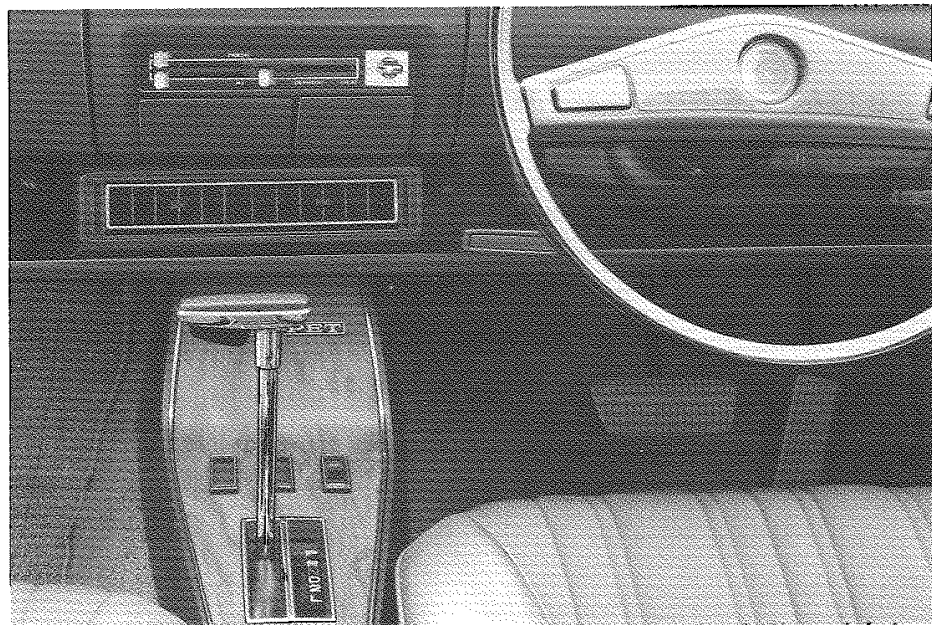


トヨグライド・オートマチック

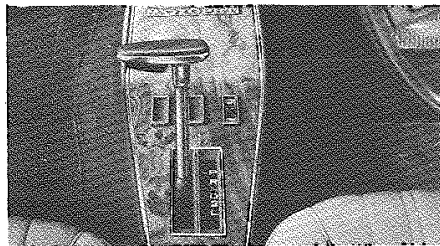
CORONA *MARK II 1700* HARDTOP / *1900* HARDTOP



■シフト・レバー

コントロール・レバーの位置はインジケーティング・プレートに示されます。

このインジケーティング・プレートは、ライト・コントロール・スイッチがONのとき照明されます。



コントロール・レバーの動かし方は次の図のように行ないます。

➡そのまま動かす。

◆◆コントロール・レバー・ボタンを押して動かす。

エンジン・スイッチがONのときにⒺにすると、バック・アップ・ランプがつかます。

2段トヨグライド



パーキング・レンジ

エンジンを始動するときおよび駐車するときの位置です。
《注意》車が完全に止まってから入れてください。

リバース・レンジ

車をバックさせる位置です。
《注意》車が完全に止ってから入れてください。

ニュートラル・レンジ

エンジンを始動する位置です。
《注意》 \textcircled{R} 、 \textcircled{L} 、 \textcircled{D} ではエンジンはかかりません。

ドライブ・レンジ

通常走行する位置です。

ロー・レンジ

強いエンジン・ブレーキが必要なときに使う位置です。

3段トヨグライド



パーキング・レンジ

駐車するときおよびエンジンを始動する位置です。
《注意》車が完全に止まってから入れてください。

リバース・レンジ

車をバックさせるときの位置です。
《注意》車が完全に止まってから入れてください。

ニュートラル・レンジ

エンジンを始動させるときの位置です。
《注意》 \textcircled{R} 、 \textcircled{D} 、 $\textcircled{2}$ 、 \textcircled{L} ではエンジンはかかりません。

ドライブ・レンジ

通常走行する位置です。

セカンド・レンジ

エンジン・ブレーキが必要なときに使う位置です。

ロー・レンジ

強いエンジン・ブレーキが必要なときに使う位置です。

■運転のしかた

2段トヨグライド

2段トヨグライド車を運転するときは次のようにします。

発進、走行……

\textcircled{N} または \textcircled{P} でエンジンを始動し、 \textcircled{N} に入れ、アクセル・ペダルを踏みます。

スピードはアクセルとブレーキで調整します。

コロナ・MARK II のトヨグライドは、オートマチックになっていますので、 \textcircled{N} レンジでは自動的にロー・ギヤで発進し、ある程度スピードがついてくるとハイ・ギヤに切りかわりますので、発進のときに \textcircled{L} に入れる必要はありません。

急坂路を下るときなど強いエンジン・ブレーキが必要なときに \textcircled{L} に入れます。

キックダウン

\textcircled{D} レンジで車速50km/h～60km/h以下で走行中、急加速したいときはアクセル・ペダルをいっぱい踏むと、自動的にギヤがロー・ギヤに切りかわり、急加速が可能になります。

一旦停止……

⑩に入れたまま、ブレーキをかけ、車を止めます。

後退……

車が完全に止まってから⑧に入れます。

駐車……

車が完全に止まってから⑥に入れます。エンジンを止め、コントロール・レバーを①以外のレンジにしても、機械的につながっていませんので坂路では車が動いてしまいます。

《使用上の注意》

- ① または ② にしてエンジンをかけてください。
- ③ または ④ からエンジンを高速回転させたままシフトしないでください。
- ⑤, ⑥, ⑦ にしてブレーキをかけたまま、エンジンを高速回転させないでください。
- ⑧ は 70km/h 以上では使わないでください。
- ⑨, ⑩ で走行中⑧に、また⑧で走行中⑨, ⑩にシフトしないでください。

6. 坂の途中で一時停止するとき、ブレーキを使わずに、⑩に入れてアクセル・ペダルを踏みながら車を止めておくような運転をしないでください。

7. 車から離れるときは必ず⑥レンジにするか、パーキング・ブレーキを引くようにしてください。

3段トヨグライド

3段トヨグライド車を運転するときは、次のようにします。

発進、走行……

③ または ④ にてエンジンを始動し、⑤ に入れ、アクセルとブレーキで調整します。スピードはアクセルとブレーキで調整します。コロナ・MARK II のトヨグライドはオートマチックになっていますので、⑥ レンジでは自動的にロー・ギヤで発進し、ある程度のスピードになるとセカンド・ギヤになり、さらにハイ・ギヤに変わりますので、発進のとき① に入れる必要はありません。

急坂路をくだるときなど強いエンジン・ブレーキが必要なときに② または ③ に入

れます。① に入れると、もっとも強いエンジン・ブレーキが得られます。

一旦停止……

⑩に入れたまま、ブレーキをかけ、車を止めます。

後退……

車が完全に止まってから⑧に入れます。

駐車……

車が完全に止まってから⑥に入れます。エンジンを止め、コントロール・レバーを①以外のレンジにしても機械的につながっていませんので坂路では車が動いてしまいます。

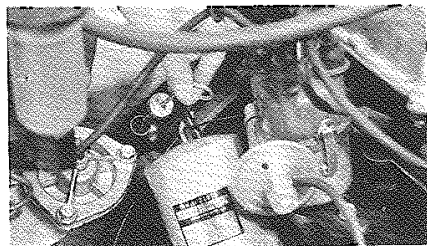
《注意》

- ① または ② にしてエンジンをかけてください。この場合、パーキング・ブレーキを必ずかけてください。
- ③, ④, ⑤, ⑥ にしてブレーキをかけたまま、エンジンを高速回転させないでください。
- ⑦ では 70km/h 以上、⑧ では 105km/h 以上で使用しないでください。
- 坂の途中で一時停止するとき、ブレ

ーキを使わずに、⑩に入れてアクセル・ペダルを踏みながら車を止めておくような運転をしないでください。

5. 車から離れるときは必ず⑨レンジにするか、パーキング・ブレーキを引くようにしてください。

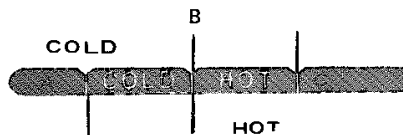
■トヨグライド・フルードの点検と補給



フルードの量や、性質がトヨグライドの性能に影響します。

お出かけになる前に次の要領で点検してください。

1. 車を水平なところに置き、⑨にしてエンジンをかけます。
2. レベル・ゲージを抜き、布などできれいにふきます。
3. もとの穴へいっぱい差し込んでから静かに抜き出します。



先端についたフルードの位置を調べます。エンジンが暖まっているときはHOTの切溝、冷えているときはCOLDの切溝で見ます。上の溝は上限、下の溝は下限です。下限以下のときは上限まで補給してください。

フルードはレベル・ゲージを抜いた穴から補給してください。

フルード容量	$\left\{ \begin{array}{l} 2 \text{ 段トヨグライド} - 4.7\ell \\ 3 \text{ 段} \quad \quad \quad - 6.8\ell \end{array} \right.$
--------	---

《注意》

フルードは上限以上入れないでください。

■トヨグライド・フルードについて

トヨグライド・フルードは30,000km走行ごとに交換してください。

フルードは、必ずキャッスル・オート・フルード・スペシャルをご使用ください。

《注意》

銘柄の違うフルードを混合使用すると、トヨグライドの性能に影響します。

■けん引されるとき注意

万一、故障してけん引されるときは次のようにしてください。

1. ⑨にして30km/h以下で行なってください。
2. トヨグライド内部に故障があり、動かすと不具合があると思われるときには後の車輪をつり上げるか、フロベラ・シャフトを外してからけん引してください。